【参考資料】

1994 年～2005 年　日韓からアジアへの国際会議概要

以下の日韓それぞれの研究会は会議発足、継続に際し核となった研究会である。

□日本　「関西日本語国語教育研究会」

(国語科教育と日本語教育のヨコの相互性から、中等教育を中心とした国語(科)教育を指向しようとする研究会。現在、活動を休止)

□韓国　「ソウル日本語教育研究会」

「韓国日本語教育研究会」

(高校での韓国人日本語教員を中心に、大学教員、日本人教員達とも連動した韓国・教育庁公認の研究会。尚、韓国日本語教育研究会は、2003 年発足の韓国全土の研究会)

(各講師の所属は当時。敬称を略す。)

第 1 回　[1994 年 8 月 1 日～5 日]
日韓・韓日教育国際会議
[於：日本・神戸]

Ⅰ　日本と韓国の中等教育の現状と課題

◇日本の課題
　　鈴木　正幸(神戸大学)
◇韓国の高校での日本語教育の課題
　　柳　吉東(漢陽女子専門大学)
◇国際社会と教育～神戸市の取り組み～
　　當谷　正幸(神戸市 PTA 協議会)
◇韓国の戦後教育史
　　李　南教(神戸韓国綜合教育院)

Ⅱ　教科授業を通して日韓の高校生に伝えたいこと

◇社会科授業「国際事情」の実践から
　　金沢　旭(須磨ノ浦女子高等学校)
◇日本の生徒に伝えたいこと
　　権　俊(汝矣島高等学校)
◇国際理解教育のための学習
　　全　玟楽(神戸韓国学園)
◇相互理解の意義
　　梁　承甲(ソウル日本語教育研究会)
◇東洋の新しい「知」への期待
　　小泉　博明(神戸国際中高等学校)

Ⅲ　映画に表された日韓の若者から見た日韓の現代

◇韓国映画の現状と日本映画の課題
　　岸野　令子(映画パブリシスト)
◇映画上映と討議
　[上映映画]　韓国『族譜』『鯨とり』
　　日本『しこふんじゃった』

Ⅳ　なぜ今日本語教育？

◇公開授業
　　吉田　洋子(神戸ＹＷＣＡ学院)
◇第 2 次世界大戦前の韓国での在外子女教育
　　小島　勝(龍谷大学)
◇神戸における日本語教育
　　柏原　淳江(神戸ＹＷＣＡ学院)

第 2 回　[1995 年 7 月 27 日～8 月 1 日]
韓日・日韓教育国際会議
[於：韓国・ソウル、慶州]

Ⅰ　21 世紀に向けての韓日交流の新しい図式

◇韓国語・日本語にみる比喩表現

閔　聖泓(韓国外国語大学)

◇日韓高校生の相互交流と国際理解

米田　伸次(帝塚山学院大学)

◇21 世紀に向けての外国語教育

李　徳奉(同徳女子大学)

◇国際的学力と日本の学校教育

藤澤　皖(千里国際学園中高等学校)

Ⅱ　新しい教育・これからの教育～日本語教育・国語科教育を視座にして～

◇韓国での日本語教育の現状と課題

朴　且煥(高明商業高等学校)

◇小学校での母(国)語教育

森本　幸一(小林聖心女子学院小学校)

◇在日韓国人への教育

金　貞子(新倉中学校)

◇オノマトペと日本語教育・国語科教育

井嶋　悠(睦学園国際教育センター)

◇討議「新しい教育・これからの教育」

【韓国側】

李　鍾萬(景福高等学校)

金　瑞瑛(東都工業高等学校)

権　俊(徳壽商業高等学校)

【日本側】

添田　晴雄(大阪市立大学)

小泉　博明(神戸国際中高等学校)

野島　大輔(千里国際学園中高校)

Ⅲ　本会議と両国の相互理解

◇韓国での日本語教育の立場から

梁　承甲(汝矣島高等学校)

◇教育学の立場から

鈴木　正幸(神戸大学)

◇社会学の立場から

小関　三平(追手門大学)

第 3 回　[1996 年 7 月 29 日～8 月 2 日]
日韓・韓日教育国際会議
[於：日本・神戸]

□ **講演**　「『左岸』から『右岸』へ
～新しい教育のために～」

鈴木　正幸(神戸大学)

Ⅰ　古代・近世日韓交流史

◇古代文学に見る交流史

北島　徹(神戸女学院大学)

◇　近世通信使に見る交流史

金　泰定(韓国外国語大学)

Ⅱ　日本語教育・韓国語教育・外国語教育

◇日本語口語文法指導の新しい試み～日本語教育と国語科教育の連動～

福島　浩介(千里国際学園中高校)

◇韓国の高校での日本語文法教育

呂　善九(光新高等学校)

◇日本での韓国語学習の現状

全　玟楽(神戸韓国学園)

◇日本の小学校での漢字教育の現状

和気　清(神戸市立鶴甲小学校)

◇韓国での漢字教育の問題点

柳　吉東(漢陽女子専門大学)

◇日本での英語文法教育の現状

赤松　晴実(須磨ノ浦女子高校)

◇同一教材での日韓指導及び生徒の反応比較

森本　幸一(小林聖心女子学院小学校)

李　瑛鍰(麻浦高等学校)

◇公開授業

○歌で教える日本語

朴　且煥(高明商業高等学校)

○依頼表現「～てください」

魏　思淑（禮一女子高等学校）

【助言】坪山　由美子(国際交流基金
日本語国際センター)

Ⅲ　高校生の社会意識

◇日韓青少年の社会意識に関する比較研究
門脇　厚司(筑波大学)

◇日韓高校での生徒指導の実状と背景
野島　大輔(千里国際学園中高校)
金　瑞瑛(東都工業高等学校)

Ⅳ　高校生・大学生シンポジューム

主題「相互交流と相互理解に向けて」
日韓高校生
日韓大学生

◇学生交流の現在と課題
窪田　守弘(愛知淑徳大学)

Ⅴ　日韓の幼児教育に見る伝統文化

◇日本の伝統文化と幼児教育
西口　純子(須磨幼稚園)

◇日本の伝承遊び
名嶋　悦子(兵庫女子短期大学
附属幼稚園)

◇韓国の伝承遊びと幼児教育
権　恵京(東京家政大学生活科学
研究所)

Ⅵ　特別主題

「阪神・淡路大震災と在日韓国朝鮮人の人権」
李　圭燮(兵庫県韓国人三民会)
(講演後、神戸長田地域を見学)

第 4 回［1997 年 7 月 30 日～8 月 1 日］
韓日・日韓教育国際会議
［於：韓国・ソウル］

Ⅰ　特別講演

◇「韓国から見た日本人・日本から見た韓国人」
池　明観(翰林大学日本語
研究所)

◇「『民話』における韓日の文化意識」
窪田　守弘(愛知淑徳大学)

Ⅱ　日本語・日本語教育

◇韓国の日本語教育への期待
西原　鈴子(国立国語研究所)

◇若者と日本語
小矢野　哲夫(大阪外国語大学)

◇日本の方言
前田　理佳子(京都橘女子大学)

◇日本語文法指導の新しい試み(Ⅱ)
福島　浩介(千里国際学園中高校)

◇韓国の高校での日本語教育現場から
権　泰奎(ソウル日本語教育研究会)

◇各現場からの報告
主題「話し言葉の教育の現在」
太田垣　明子(大阪インターナ
ショナルスクール)
森本　幸一(小林聖心女子学院
小学校)
小林　雅美(帝塚山学院泉が丘
中高等学校)
李　瑛鍰(麻浦高等学校)
趙　美淑(光榮女子高等学校)

Ⅲ　高校生・大学生シンポジューム

昨年の第 3 回に引き続き「相互交流と相互理解に向けて」
韓日高校生　/　韓日大学生

◆報告　「韓日高校生・大学生の相互交流の現状と今後」
呂　善九(光新高等学校)
井嶋　悠(千里国際学園中高校)

Ⅳ　韓日高校生の生徒指導の実状と背景

（Ⅱ）～昨年の第３回に引き続いて～

金　瑞瑛（東都工業高等学校）

野島　大輔（千里国際学園中高校）

Ⅴ　近現代史と韓日

◇昭和天皇の戦争責任論を通して見た現代日本人の天皇観～前長崎市長の発言を基にして～

金　弼東（世明大学）

◇在日韓国朝鮮人問題について広島からの発信

松谷　映子（広島女学院中高校）

◇韓日関係と相互認識～歴史と展望～

河　宇鳳（全北大学）

第５回　［1998 年８月５日～８月８日］
日韓・韓日教育国際会議
［於：日本・神戸］

Ⅰ　日本語・国語教師として

◇言葉の教師としての日々、その中での思い、夢

【発題】

太田垣　明子（大阪インターナショナルスクール）

宮副　裕子（香港理工大学）

秋吉　英理子（東京都立国際高校）

【討議】

上記、発題者

◇バイリンガル・バイカルチャルの現状、その教育

西原　鈴子（東京女子大学）

Ⅱ　日韓の歴史を考える

◇近現代の歴史教育を考える

藤澤　皖（外務省子女教育相談室）

◇戦後の韓日交流から 21 世紀の韓日関係の新たしい構築を考える

金　弼東（世明大学）

Ⅲ　シンポジューム

「奈良見学旅行で感じ、考えたこと」

日韓高校生/日韓大学生/日韓教師

Ⅳ　漫画文化・アニメーション文化

◇日本の漫画・アニメと日本・韓国・香港・タイの若者

～漫画文化と国際交流、現代社会～

【発題】

日本から

石田　佐恵子（大阪市立大学）

韓国から

文　貞善（上渓高等学校）

香港から

梁　安玉（香港城市大学）

タイから

吉岡　みね子（天理大学）

【高校生・大学生及び上記発題者による話し合い】

【コメンテーター】

小関　三平（追手門学院大学）

Ⅴ　国際交流の現在

◇１回性の感動を継続性のある感動へ

日本から

「韓国との継続的交流を行っている高校の調査を基に」

米田　伸次（帝塚山学院大学）

韓国から

「日本との継続的交流を行っているソウル市内の高校の調査を基に」

金　瑞瑛（東都工業高等学校）

【参考】

「関西日本語国語教育研究会」研究大会

［1999 年３月 20 日～21 日　於：大阪］

◇基調講演

「日本語教育と国語科教育の相互交流・相互啓発」

上野　田鶴子(東京女子大学)

［第 1 部］

◇日本語教育と国語科教育の相互交流・相互啓発についての発題

日本語教育から

村岡　貴子(大阪大学)

国語科教育から

井嶋　悠(千里国際学園中高等学校)

◇討議

上記、発題者及び

森本　幸一(小林聖心女子学院小学校)

北島　徹(金蘭短期大学)

◇講演

「本大会と関西日本語国語教育研究会」

小矢野　哲夫(大阪外国語大学)

［第 2 部］

◇国立国語研究所・高校日本語教育研究会からの第一次報告

［報告］

大堀　良博(埼玉県立和光国際高校)

［討議］

秋吉　英理子(東京都立国際高校)

井内　麻矢子(学習院女子高校)

田中　薫(大阪市立豊崎中学校)

井嶋　悠(千里国際学園中高校)

(コーディネーター)

今井　信光(千葉国際中高校)

［論評］

柳沢　好昭(国立国語研究所)

［第 3 部］

◇在日外国人保護者から見た日本語教育・国語科教育

［発題］

金　孝(在日本大韓民国民団)

キャサリン　鈴木(大阪インターナショナルスクール保護者)

［討議］

上記、発題者及び

原　和久(大阪インターナショナルスクール)

和気　清(神戸市立鶴甲小学校)

(コーディネーター)　井嶋　悠

［第 4 部］

◇国際バカロレアから考える日本語・国語科教育

［講演］　バーナード　恭子

(横浜インターナショナルスクール)

ブライアン　コームズ

(大阪インターナショナルスクール)

◇特別講演

「韓国高校日本語教員から見た、韓国の国語科教育」

権　俊(ソウル日本語教育研究会)

アジア教育国際会議

2000 年 8 月 10 日～8 月 11 日

［於：日本・神戸］

Ⅰ　アジアでの日本語教育と母語(国語)教育

◇各国・各地域での現状と課題

【発題】

日本　「高校日本語教育研究会」

(国立国語研究所プロジェクト)

韓国　「ソウル日本語教育研究会」

中国

張　国強(中国教育学会)

台湾

工藤　節子(台中東海大学)

香港

宮副　裕子(香港理工大学)

【討議】

上記、発題者及び参加者

［コメンテーター］

山田　泉(大阪大学)

Ⅱ　アジア地域の日本人学校での国語科教育と日本語教育の現状と課題

◇日本人学校３校からの報告と問題提起

北京日本人学校　　比嘉　昇
(前北京日本人学校)

台北日本人学校　　堤　登
(台北日本人学校)

ソウル日本人学校　　石川　和幸
(ソウル日本人学校)

［討議］

上記、発題者及び参加者

［コメンテーター］

小島　勝(龍谷大学)

生野　康一(前デトロイト補習授業校)

Ⅲ　日本語を媒介とした若者の交流

◇日本・韓国・台湾・香港の高校生・大学生による話し合い

［コメンテーター］　米田　伸次
(帝塚山学院大学)

Ⅳ　日韓・韓日教育国際会議回顧、とアジア教育国際会議を考える

◇講演

藤澤　皖(外務省子女教育相談室)

◇討議

上記発題者・コメンテーター・参加者

閻　万暦(関西学院大学院留学後、日本企業に就職)

第１回　日韓・アジア教育国際会議
［2004 年 8 月 8 日～8 月 10 日］
［於：日本・神戸］

Ⅰ　日本語教育・国語科教育と海外帰国子女教育・外国人子女教育

［発題］

◇海外日本人学校・補習授業校での日本語の教育現状

◇日本国内での外国人子女への日本語の教育現状

佐藤　郡衛(東京学芸大学)

［報告と討議］

◇日本国内のインターナショナルスクールの現在

谷川　依津江〈大阪インターナショナルスクール〉

◇日本の公立高等学校の現在

秋吉　英理子〈東京都立高等学校〉

◇海外の補習授業校での現在

足立　堯〈前海外子女教育振興財団〉

［コメンテーター］

生野　康一(海外子女教育国際理解教育研究協議会)

【特別講演】

「韓国での海外帰国子女教育現状と母語教育」

尹　裕淑〈韓国教育人的資源部〉

Ⅱ　外国語教育としての日本語教育現在からの日本の課題、役割

［発題］

◇国際文化フォーラムの事業活動を通して

中野　佳代子（国際文化フォーラム）

［報告と討議］

◇韓国　　文　貞善（蘆原高等学校）

◇北京と他の中国都市
張　国強〈中国外国語教育学会日語専業委員会〉
◇中国特別行政区香港
宮副　裕子〈香港理工大学〉
◇台湾
工藤　節子〈台湾東海大学〉
［コメンテーター］
坪山　由美子（国際交流基金日本語国際センター）

Ⅲ　日本の中等教育での韓国朝鮮語教育

［発題］
◇大韓民国民団・韓国語教室
洪　鉉洙〈神戸韓国綜合文化院〉
◇大阪・関西圏公立高校での韓国語学習
任　喜久子〈大阪府立阪南高校〉
◇大阪府立高校国際科での韓国朝鮮理解・アジア理解
加藤　正彦(帝塚山学院大学)
［コメンテーター］
朴　且煥（韓国高校日本語教諭・現、大阪外国語大学院留学生）

Ⅳ　座談会　「日本への大学を中心とした留学・入学希望者への現在」

◇ソウルを中心にして　全　鍾憲（ソウル私立高等学校）
◇香港を中心にして　梁　安玉（香港城市大学）
◇長春を中心にして　李　鉄成（長春第一外国語中高等学校）
◇台南を中心にして　中村　亮介（千里国際学園中高校）

Ⅴ　今回の会議と日韓・アジア教育文化センターの今後

◇海外帰国子女教育と「日韓・アジア教育文化センター」
小島　勝〈龍谷大学〉
◇ソウル日本語教育研究会と「日韓・アジア教育文化センター」
田　泰重〈ソウル日本語教育研究会〉
◇韓国日本語教育研究会と「日韓・アジア教育文化センター」
趙　成範〈韓国日本語教育研究会〉

第 2 回　日韓・アジア教育国際会議

［2005 年 8 月 18 日～19 日］

［於：韓国・釜山］

Ⅰ　日本語教育での「日本事情(文化)」教材

◇教室現場からの報告・発題
韓国　劉　美英（蔚山生活科学高等学校）
香港　宮副　裕子（香港理工大学）
梁　安玉（香港城市大学）
台北　黄　美慧（台湾東海大学）
工藤　節子（台湾東海大学）
北京　張　国強（中華人民共和国教育部）
◇研究者から見た現状
日本　坪山　由美子（国際交流基金

日本語国際センター）

韓国　　文　貞善

（蘆原高等学校教諭）

◇討議

「日本語教材『高校生の素顔』の使用経験を踏まえて」

上記、発題者及び

森本　幸一（小林聖心女子学院小学校）

Ⅱ　日本での韓国語教育

◇日本の高等学校における韓国語教育の現状

新長　太（広島市立広島商業高校）

◇韓国での外国人対象韓国語教材

李　吉遠（東亜大学）

Ⅲ　韓流ブーム・韓日修交 40 周年・若者

◇講演

李　修京（東京学芸大学）

◇韓日の高校生・大学生による意見交換

韓国　高校生　5 人

日本　高校生　3 人　大学生　2 人

Ⅳ　海外帰国子女教育

◇海外帰国子女教育の現在と東アジアの今後

日本　　井嶋　悠

（日韓・アジア教育文化センター）

韓国　　尹　裕淑

〈韓国教育人的資源部〉

上海　　酒井　正人

（上海日本人学校）